

健康・生活科学委員会・環境学委員会合同 環境リスク分科会  
(第25期・第5回) 議事録

日時：2021(令和3)年12月23日(木) 12:00～14:00

場所：東京大学伊藤国際学術研究センター B1F「ギャラリー2」  
(東京都文京区本郷7-3-1)

出席者：浅見、石塚、大塚、小熊、小野、上田、中村、那須、野原

欠席者：青島、秋葉、近藤、續、渡辺

参考人：石川雅紀、山田正人、中島慶次、大河内博

**1. 第3回議事録、第4回メール審議についての確認を行った。**

**2. この後に行われる日本公衆衛生学会共催シンポジウム「プラスチックのガバナンス：感染症制御のための衛生環境管理と資源循環」に関して**

- ・シンポジストより自己紹介と講演内容の紹介
- ・分科会委員の自己紹介
- ・シンポジウムの進行に関する打ち合わせ
- ・内容に関連しての質問等

**3. 提言案について(経過報告)**

提言案リスク認知と教育に関する活動について、那須委員長より報告が行われた。

- ・第1回「リスク認知と教育」ワーキンググループ会議設置の経緯、説明  
10月13日総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会(委員長は須田 義大 東京大学生産技術研究所教授)の一部の会員と交流した

- ・今後リスク認知と教育に関するフォーラムを開催する：第2部と3部の5分科会で。
- ・第1回「リスク認知と教育」小グループ会議を開催した

11月11日 オンラインにて開催

出席者 青木(毒性学分科会)、石塚(食の安全分科会)、那須(環境リスク分科会)

- ・提言の骨子案の紹介

その後質疑応答を行った。今回は提言でなく、見解としてまとめる可能性もある。

**4. e-book について**

那須委員長よりe-book, Overcoming Environmental Risks to Achieve Sustainable

Development Goalsが出版できたことの報告と内容の報告があった。

委員より、これまで公害に関する文献や、日本の公害に関してまとめた本は日本で書かれたものしかなく、英語での出版の意義は大きいとの意見。

## 5. 今後の活動方針

1) 那須委員長より：24期、2020年の提言が文部科学省の令和3年版科学技術・イノベーション白書で紹介された。その英訳版の依頼があった。今後24期メンバーで英訳を完成させたい。

その後、英訳版の今後の活用法について質疑応答を行った。

2) 那須委員長よりパンデミックと社会に関する連絡会について報告された。

## 6. その他

・本日のシンポジウムの内容は提言または見解に取り込むとの意見があった。